



2年サイエンスツアー（東京・筑波）3日目

国立科学博物館



最終日の7月23日（木）は、国立科学博物館での研修でした。

国立科学博物館は1877年に設立された、自然史および科学技術史に関する世界の中核的拠点となる唯一の国立総合科学博物館です。研修では、地球館「地球生命史と人類」と日本館「日本列島の自然と私たち」を見学しました。地球館では、宇宙が誕生し、地球が生まれてからの環境の変動、生命の歩み、人類が生まれてからの科学の歩みなどを学ぶことができました。日本館では、日本列島の自然と生き立ち、そこに暮らす生き物たちの進化、日本人の形成過程、そして私たちと自然のかかわりの歴史が展示されていました。

参加生徒の感想より

「非常に多数の展示物があり、質・量ともに驚かされました。予定より見学する時間が減ったため、全部の箇所をまわれなかったのが残念でした。人間は本当に膨大な量の謎を解き明かしてきたのだと実感した。」「本当にさまざまな分野のものが展示されていて、とても大規模だった。もともと海洋生物に興味がありましたが、もっと学んで詳しくなりたいと思いました。」

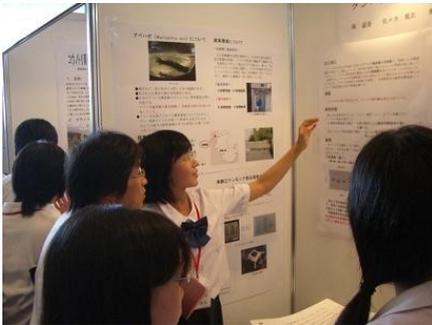
SSH報告

- ✦ 2年サイエンスツアー
- 3日目 国立科学博物館
- ✦ 平成21年度
- SSH生徒研究発表会
- パシフィコ横浜



平成21年度 SSH 生徒研究発表会に参加

ポスターセッション発表「光周期がアベハゼのタンパク質代謝に及ぼす影響」



8月6日（木）・7日（金）の2日間、「SSH平成21年度生徒研究発表会」がパシフィコ横浜で行われました。本校からは環境科学科3年生3名が参加しました。発表会前日の5日（水）は、ポスターセッション会場で発表の準備を行いました。今回のポスターセッションでは、南遥香さん、青石知子さん、佐々木規衣さん達が「光周期がアベハゼのタンパク質代謝に及ぼす影響」について発表しました。

参加生徒の感想より

「学校でポスターセッションの準備をしました。上手に発表できるか少し心配でしたが、とても興味をもって発表を聞いてくれる人ばかりで、自分たちの発表に自信がもて、発表することをとても楽しく感じました。また、他のSSH校の発表は、どれも高度で個性的だったので、驚くことやおもしろいことがたくさんありました。発表をするだけでなく、聞くことも楽しかったです。たくさんの刺激を受け、とてもよい経験になったと思います。」

物理部がCu-Roboconにおいて優勝と準優勝で全国大会へ

物理部は、8月1日（土）に中部大学で行われたCu-Robocon（WRO Japan 公認予選会）に、4チームが出場しました。WROとは、「World Robot Olympiad」の略で、ロボット競技を通して創造力や問題解決力の育成を目的とする32カ国による国際的な大会です。大会は、公認予選会→全国大会→国際大会の流れで行われます。高校生部門は「ロボットビリヤード」というテーマで、



ロボットはスタート地点から障害を通過し、青と赤の球を拾い、球と同じ色の穴に入れるという競技です。

ロボットはプログラムにより制御し、操作はできません。また、試合当日にルール変更があり、それに対応したロボット製作とプログラミング能力を競います。

公認予選会には58チームが参加し、本校チームはそれぞれ優勝・準優勝・特別賞という成果を出すことができました。また、それに伴い、出場した全国大会では、29チーム中13位という結果でした。

